

守章展

終日二十三区

2012年3月11日(日)–3月18日(日)



youkoboART SPACE

終日二十三区

関係者各位様

いつもお世話になっております。

この度、守章による企画展を開催致しますので、ここにお知らせいたします。

3・11震災直後、都内で公共交通機関が軒並み運行停止となり幹線道路は渋滞を引き起こし帰宅困難者が多数発生しました。守は、この事実と、自身の郷里、石巻の交通機関の現状を重ね合わせ、既存の公共交通機関が停止した際、個人的に選び優先される仕組みについて考えを巡らせました。

今展では、守が芸術活動を通じて出会った人々、そして都市滞在型のアーティストインレジデンス活動を推進している遊工房アートスペースが、お互いの情報環境を基に巡る乗合バス・ルートを3月11日に東京23区で運行します。

当日、乗客がバスに乗り入れる際に、非常事態を想定したテストの為に毎夕流れる防災行政無線の音楽が車内に鳴ります。その音は、日常が確かに毎日更新されていることの証と言えるでしょう。バスの運行状況は音声によってギャラリー内に中継されます。バスが17時(予定)にギャラリーに到着した後、会場来訪者と乗客(参加申込み終了)が車座になって3.1を出発点に様々な意見交換を行ないます。ギャラリーでは18日まで、このプロジェクトに併せた展示を行ないます。

皆様のご来訪を心よりお待ちしております。



[展覧会情報]

展覧会名：守章展「終日二十三区」

会期：2012年3月11日(日)～3月18日(日)

休廊日：3月12日(月),13(火)

開廊時間：12時 - 19時 (最終日17時まで)

シンポジウム・オープニング：3月11日(日)午後5時より

会場：遊工房アールスペースギャラリー

問い合わせ：〒167-0041 杉並区善福寺3 - 2 - 10

(Tel)03-5930-5009, (Fax)03-3399-7549, (Email) info@youkobo.co.jp

担当：村田弘子、進藤詩子

[交通のご案内]

公共交通機関：

- ・ JR中央総武線「西荻窪」北口バス2番「上石神井」「大泉学園」行き「善福寺」下車すぐ
 - ・ JR中央総武線・地下鉄丸ノ内線「荻窪」北口バス0番「武蔵関駅」「北裏」行き「善福寺」下車徒歩一分
- 自動車：青梅街道「善福寺三丁目」交差点南、桃井第四小学校北隣

[作家紹介]

—守章—

1967 宮城県生まれ

個展

- 2001 秋吉台国際芸術村、山口
ナディッフ、東京
麴町画廊、東京
- 2002 麴町画廊、東京
AIT HOUR MUSEUM、東京
- 2005 秋吉台国際芸術村、山口
- 2008 木町ハウス、山口
山口市菜香亭、山口

グループ展

- 1996 VIDEONALE7, Kunstmuseum Bonn, ドイツ
- 1999 オープンスタジオ、CCA北九州、福岡
- 2000 低温火傷、東京都現代美術館、東京
- 2001 stereo, 山口市立美術館、山口
- 2002 メルボルン—東京、マガジン／エキシビジョン・プロジェクト、グロス:ナディッフ、東京
サットンギャラリー、メルボルン
CCP現代写真センター、メルボルン
サウス・オーストラリア現代美術センター、アデレード
- 2003 ブギウギワンダーランド、山口
- 2004 AIT HOUR MUSEUM vol.2、東京
- 2006 Link-a, マドリッドメディア研究所、マドリッド
- 2009 山口盆地午前五時、山口市菜香亭、山口

アーティストインレジデンス

- 2000 秋吉台国際芸術村サポートプログラム
- 2008 NPO法人YICA (山口現代美術研究所)

ユニット活動

2003— MUZUCKS

[アーティストステイトメント]

守章

1996年より守雅章と喜章の双子の兄弟が共同制作を始めるために結成したユニット。

ビデオ、写真、音楽など様々なメディアを使用したインスタレーション作品を制作します。

作品において使用される様々なメディアは現在の私たちを取り巻く多様なコミュニケーションの形式とそれに対応する距離を象徴しています。メディアは必ずそれに固有の厚みを持ち、決して‘私’と他者とを直接に結びつけることはありません。そして痛みを感じることの出来ないもどかしさとせつなさを生む距離。

この距離感が我々にとって、作品制作の根本にあります。